

「たからもの」を見る。その経験が「たからもの」になる。



令和5年度 教育普及事業説明資料



ホームページ



企画展「きゅうおにとタイムトラベル」



第一展示室



屋外展示「石人等」



過去の人々の遺産を あずかる場所

現在の人々とともに 守る場所

未来の人々へ 伝える場所

新収蔵庫



空撮 九州歴史資料館



新収蔵庫の蔵物の展示



発掘された土器の復元作業



床下の遺構展示



第2展示室（大宰府政庁中門復元模型）



九州歴史資料館

—学校による活用のご案内—

博物館は、「もの」から学ぶための場所であり、知識を「もの」によって実証・確認する場所です。子どもたちの学ぶ意欲をふくらませるお手伝いをします。



企画展「きゅうおにとタイム
トラベル」を活用した学習



バックヤードツアー



竪穴住居づくり体験



VR古墳探索体験



オンライン授業

来館学習までの流れ

(1) 当館への問い合わせ

広報普及班にお電話か申し込みフォームで御連絡ください



(2) 当館の在籍教員（指導主事）と事前の打ち合わせ

【内容】

- ・来館学習のねらい、目的の明確化、
 - ・具体的な当日のスケジュール
 - ・学校側に作成していただく書類などの確認 ……など
- ※史跡等での見学をセットにする場合は、該当市町村の文化財担当者との調整を別途行ってください。



(3) 書類の提出

- ・「九州歴史資料館観覧料免除申請書」（展示室観覧）
- ・「九州歴史資料館施設利用申込書」（研修室・会議室利用）

実施

当館の在籍教員との協議を通して、学校側のニーズに応じた様々な学習活動をサポートします。

- ・学習の主眼を明確化したうえで、効果的な学習活動づくりをお手伝いします。
 - ・教科や総合的な学習の時間の中身を深める出前講座やオンライン遠隔授業、当館所蔵品資料の写真の貸出も行います。
- ※館から職員を派遣する場合でも、旅費や謝礼等の負担は一切ありません。

【お問い合わせ先】

九州歴史資料館 文化財企画推進室
広報普及班(担当:中野、田中)

〒838-0106 小郡市三沢5208-3

TEL 0942-75-9575(代 表)

0942-75-9501(直 通)

FAX 0942-75-7834

お問い合わせ
フォーム



小学校による活用のご案内

第4学年 社会科

「わたしの県のまちづくり」

太宰府にある様々な文化財を守り伝える仕事について学芸員が話をすることができます。

また、ホームページでは、福岡県内の主な文化財や年中行事として、史跡や世界遺産、無形民俗文化財などを紹介しています。これを活用することで、県内の主な文化財や年中行事の特色をとらえることができます。

こんなふうにして太宰府歴史をみんなに伝えているんだね

文化財資料集を使って調べると、福岡県内の文化財や年中行事のことがよくわかったよ。素晴らしいものは、これからもずっと守り伝えていきたいな。

第6学年 社会科

歴史学習の入口

企画展「きゅうおにとタイムトラベル」

4/1～7/17

狩猟・採集や農耕の生活の様子をパネルで比較して、縄文・弥生時代の共通点や相違点を探ることができます。

奈良時代の大宰府の様子を見ることを通して、古墳時代を経て、国がまとまり天皇を中心とした政治が都だけでなく全国に及んだことに気付けます。

※ホームページ九歴動画チャンネルから「きゅうおにとタイムトラベル」(約7分)が視聴できます。

古墳時代になると、日本がひとつの国としてまとまっていったんだね。

都で決められたことがわたしたちのくらす福岡でも確かにに行われていたんだな。

自分たちの住んでいる福岡県の歴史がよく分かった。これからもっとくわしく調べてみたい。

旧石器時代～近現代

と き 常設展示「歴史の宝石箱」

(特別展会期中を除く)

資料を通して、時代の流れや変化、時代ごとの特色や海外との交流を学ぶことができます。

道具や集落(むら)の規模や仕組みが時代ごとに大きく変わってきたんだね。

大陸からは物だけではなくて技術や文化も伝わっていて、わたしたちのくらす福岡が玄関口になっていたんだね。

多くの人たちの苦労や工夫、努力の上に今のわたしたちの生活があるんだね。



全学年

生活科・社会科

総合的な学習の時間 など

- 公共施設探検(町たんけん)
- 古代体験
 - ・出土品ハンズオン体験
 - ・竪穴住居づくり体験
- VRで古墳探索体験(出前可)
※体験活動は体験できる人数に限りがあります。(30人程度)

このような学習ができます。年間の学習計画に効果的に位置づけ、活用していただきたいと思います。お気軽にご相談ください。

小中学生・先生のための

福岡県内の主な文化財・年中行事 資料集



研修の場として

先生方の研修の場として、研修室や会議室をご利用いただけます。使用料の減免制度もございます。



中学校の先生方へ

中学校による活用のご案内

様々な学びの場でご活用ください(総合的な学習の時間・各教科・学校行事)

- ① 展示見学(通常は入ることができないバックヤードも見学できます)
- ② 学芸員や発掘技師による職業講話
- ③ さまざまな種類の業務が体験できる職場体験
- ④ 出前授業やオンライン遠隔授業

自然教室の往路や復路に当館を組み込んでいただき、講座や展示見学を実施することもできます。



出前講座

30名～150名収容できる研修室、会議室があります。

見学の前後に、学芸員の話聞くことができます。学校側のご要望に可能な限りお応えします。

※来館が難しい場合は、学校に職員を派遣することもできます。詳しくは、出前講座の案内をご覧ください。

オンライン遠隔授業

先生方のニーズに応じて、様々な内容の授業をご提供できます。写真は中学校で行った「オンライン社会科見学」の様子です。展示室と教室を中継で結び、会場全体を見てもらったあと、それぞれの端末から展示品を鑑賞してもらいました。

GIGAスクールだからこそ、博物館とオンラインでつないで遠隔授業をしませんか。

職場体験

2日もしくは3日間の日程で、さまざまな種類の業務体験を提供します。

- ・学芸員体験
- ・文化財整理作業(復元作業・拓本など)
- ・発掘技師体験
- ・保存科学実習
- ・受付業務体験
- ・清掃業務体験
- ・警備業務体験

研修・会議

研修室や会議室を先生方の研修の場所として活用することも可能です。

校内研修や教科の研究会など、積極にご活用ください。

音響設備、スクリーン、プロジェクターなどの設備も整っています。

※学校関係団体の場合は、使用料の減免制度があります。



高等学校による活用のご案内



高等学校における当館の活用例

- ① インターンシップ（福岡県教育庁・学校独自のカリキュラム）
- ② 学科や部活動単位での鑑賞会や見学会（芸術科や郷土史研究会等）
- ③ 出前授業・オンライン遠隔授業
- ④ フィールドワークにおける事前学習や解説（オンラインでも対応できます）
- ⑤ 学芸員や発掘技師による進路講演会における職業講話（オンラインでも対応できます）
- ⑥ 研修・会議（校内研修・教科の研究会）

当館の職員の高い専門性を
ぜひ授業づくりやキャリア教育に
ご活用ください。

教室と博物館をオンラインで結ぶ「遠隔授業」

当館の展示室からリアルタイムでご紹介できます。また学芸員による解説やオンラインでのメリットを生かした双方向での質疑応答は、生徒の学ぶ意欲を喚起し、学習の個性化を図ることができます。また歴史の授業だけにとどまらず、仏像を使った現代社会や美術の授業、保存科学の手法や機器の解説を通した科学や物理の授業での活用も可能です。



博物館職員による「出前授業」

講師派遣の費用（謝礼、交通費等）は必要ありません。学校側のご要望に可能な限りお応えします。職員が直接お話をすることで授業の主眼の達成のお手伝いをさせていただきます。それに加えてキャリア教育としての価値付けも期待できます。歴史総合における探求活動等にもぜひご活用ください。



歴史を体感するツアーに 皆さんをご案内します

九州歴史資料館「来館学習」



- 無料**でご案内できます。(学校様には観覧料の減免あり)駐車場も無料です。
- 当館の**在籍教員(指導主事)**が「ツアー形式」で館内をご案内します。
- 学習の最初にオリエンテーションを行い、本時の学習のめあてや見学する視点を提示しますので、効果的に来館学習を行うことが期待できます。
- 博物館の「バックヤードツアー」が実施できます。(土器の復元作業の見学や文化財を保管する収蔵庫の見学を行います)
- ご希望があれば**体験活動**(VR体験や竪穴住居づくり)を行うことも可能です
- 標準時間は70分**です。体験を希望される場合はさらにお時間が必要です。
- 昼食場所をご準備することもできます(研修室に空きがある日に限ります)

「たからもの」を見る。その経験が「たからもの」になる。



〒838-0106

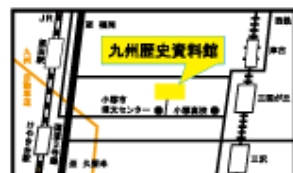
TEL : 0942-75-9575

福岡県小郡市三沢 5208-3 FAX : 0942-75-7834



(西鉄電車) 天神大牟田線
三國が丘駅より約 700m

(JR) 鹿児島本線三洲駅より
タクシーで約 10分



基本的な来館学習のご提案（略案）



- 1 対 象 6年生児童（4学級）
- 2 内 容 館内ツアー・バックヤードツアー（90分）
- 3 主 眼 体験活動や学芸員の説明を通して、文化財に触れる感動を味わい、文化財の保存・継承の意味を考えることができるようにする。
- 4 準 備 （学校側）
 ・探検バッグ（バインダー）
 ・えんぴつ （※シャープペン、消しゴム不可）

5 展 開

		1 組	2 組	3 組	4 組
9:30 ~ 9:45	15分	九歴到着→ 研修室 →（トイレ）→あいさつ、オリエンテーション ※グループごとに着座をお願いします。		九歴到着→ エントランス →（トイレ）→あいさつ、オリエンテーション ※グループごとに着座をお願いします。	
9:45 ~ 10:00	15分	【体験活動】 （ハンズオン体験） さわってみよう。昔の道具	【バックヤード・新収蔵庫】 発掘品・倉庫 保存洗浄室見学 〈甕棺、など〉	【第1展示室】 常設展観覧 「歴史（とき）の宝石箱」	【第2・4展示室】 特別展見学 「京都平野と豊国の古代（仮）」
10:00 ~ 10:15	15分	【バックヤード・新収蔵庫】 発掘品・倉庫 保存洗浄室見学 〈甕棺など〉	【第1展示室】 常設展観覧 「歴史（とき）の宝石箱」	【第2・4展示室】 特別展見学 「京都平野と豊国の古代（仮）」	【体験活動】 （ハンズオン体験） さわってみよう。昔の道具
10:15 ~ 10:30	15分	【第1展示室】 常設展観覧 「歴史（とき）の宝石箱」	【第2・4展示室】 特別展見学 「京都平野と豊国の古代（仮）」	【体験活動】 （ハンズオン体験） さわってみよう。昔の道具	【バックヤード・新収蔵庫】 発掘品・倉庫 保存洗浄室見学 〈甕棺、など〉
10:30 ~ 10:45	15分	【第2・4展示室】 特別展見学 「京都平野と豊国の古代（仮）」	【体験活動】 （ハンズオン体験） さわってみよう。昔の道具	【バックヤード・新収蔵庫】 発掘品・倉庫 保存洗浄室見学 〈甕棺、など〉	【第1展示室】 常設展観覧 「歴史（とき）の宝石箱」
10:45 ~ 11:00	15分	（トイレ）→ 【研修室】 で学習のまとめ、→あいさつ		（トイレ）→ 【エントランス】 で学習のまとめ、→あいさつ	

6 体験後の児童の感想

- ・普通は見るできない博物館の裏側も見ることができて楽しかった。
- ・学芸員さんの話がおもしろくて、とても勉強になりました。特別収蔵庫も大きくて凄かったです。
- ・住んでいるところの近くの出土品がたくさんあって驚きました。家の近くにもあるのかな。



Passion

博物館の「専門家」 だから伝えられる情熱



九州歴史資料館「出前授業」

- 九州歴史資料館では福岡県内の小・中学校および高等学校を対象にした「出前授業」を実施しています。
- 社会科や地理歴史の授業はもちろん、修学旅行やフィールドワークの事前学習、総合的な学習の時間などにおいても、積極的にご活用ください。豊富な知識はもちろん、専門家だからこそ伝えられる研究の熱量もご提供できます。テーマによってはオンライン遠隔授業での対応も可能です。
- 費用は無料です。学校側のご要望に応じて内容の変更もできますので、まずはお気軽にご相談ください。

お問い合わせ
フォームです。



「たからもの」を見る。その経験が「たからもの」になる。



九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒838-0106

福岡県小郡市三沢 5208-3

TEL : 0942-75-9575

FAX : 0942-75-7834



アクセス
(西鉄電車) 天神大牟田線
三國が丘駅より約 700m
(JR) 鹿児島本線三田駅より
タクシーで約 10 分



小学校 4 年生 出前授業略案（例）

- 1 日 時 月 日（ ） ○校時 ○○：○○ ～ ○○：○○ （社会科の時間）
- 2 場 所 ○○立○○小学校 4 年○組教室
- 3 人 数 児童 ○○名 担任 ○○先生
- 4 内 容 4 年生 社会科 6「わたしたちの県のまちづくり」（教育出版）
 - 2 昔のよさを未来に伝えるまちづくり に係る出前授業「文化財をあずかり守り伝える仕事」
- 5 主 眼 太宰府で発掘されたもの、伝えられてきたものを大切にし、伝えている人の話を聞くことを通して、太宰府の歴史への関心やまちづくりについて追求する意欲を高めることができるようになる。
- 6 準 備 （学校側にお願いしたいものです。よろしくお願いします。）
 - ・プロジェクター・スクリーン（テレビモニター・電子黒板でも可です）
 - ・接続用 HDMI ケーブル ※パソコンはこちらから持参します。パワーポイントを使用します。
 - ※必要があればこちらでワークシートを作成することも可能です。

7 展 開

学習活動と内容	手立て	形態	配時
1 九州歴史資料館と本時の学習内容について知る。 ・福岡県立の博物館 ・文化財と太宰府 ・本時の見通し	○ 九州歴史資料館や学芸員の取り組みについて理解させ、今回の授業の価値認識を高めさせる。	一斉	5
めあて 九州歴史資料館の人々は太宰府の文化財をどのようにあずかり、守り、伝えているかを知り、その大切さに気付こう。			
2 学芸員の話聞く。 ・博物館としての機能 ・埋蔵文化財センターとしての機能 ・伝える活動	○ 実際に働いている九州歴史資料館の職員（学芸員）の話を直接聞かせることを通して、抽象的な概念である昔のよさや伝える活動について、より明確なイメージをもたせる。 ○ 講話とともに、写真資料を見せることを通して、博物館の業務について深く理解させるとともに、歴史に対する興味・関心を高めさせる。	一斉	15
3 学芸員に質問をする。	○ 児童がもった素朴な疑問を質問させ、直接回答をする活動を通して、学習の個性化を図る。 ※場合によっては班で疑問に思ったことを共有する時間を設定する。	個別	20
4 本時の振り返りを行う。	○ 本時の学習内容を振り返ることを通して、めあての達成について（文化財をあずかり、守り、伝える大切さに気づき、考えることができたか）の自己評価を行わせる。	一斉	5

九州歴史資料館 出前授業 学習プログラムの例

九州歴史資料館では福岡県内の小・中学校および高等学校を対象にした「出前授業」を実施しています。社会科の授業はもちろん、修学旅行やフィールドワークの事前学習、総合的な学習の時間などにおいても、積極的にご活用ください。テーマによってはオンラインでの対応も可能です。また学校側のご要望に応じて内容の変更もできます。まずはお気軽にご相談ください。

該当学年	全学年
プログラム名	進路学習・職業講話 「博物館・文化財に携わる仕事」
教科・単元	総合的な学習の時間等 （キャリア教育・進路学習）
主眼	文化財の保護や調査・研究に携わる職員の講話や質疑応答の時間を通して、職業の社会的な役割や意義を理解し、自己の生き方を考えることができるようにさせる。
内容（例）	1 九州歴史資料館の紹介と本時の授業についての見通し・めあて（5分） 2 職員の話（30分） 3 質問タイム（10分） 4 ふりかえり（5分）
備考	学芸員、発掘技師の講話が可能です。また学校の進路学習の形態に合わせて派遣ができますのでご相談ください。
ポイント	講話を通して主眼の達成に加えて、歴史や文化財に対する興味・関心の高まりも期待できます。

該当学年	小学校3年生～6年生
プログラム名	太宰府の歴史を守り、伝える仕事 ※オンライン遠隔授業でも実施可能です
教科・単元	小学校4年生 社会科 わたしの県のまちづくり （教育出版）
問い	どんな人達がどのように太宰府の歴史を守って伝えているのだろう。
単元計画の例	1 焼物を生かしたまちづくり → 2 昔のよさを未来に伝えるまちづくり → 本時 → 調べ学習等
主眼	太宰府で発掘されたもの、伝えられてきたものを大切に、伝えている人の話を聞くことを通して、太宰府の歴史への関心やまちづくりについて追求する意欲を高めることができるようにさせる。
内容（例）	1 九州歴史資料館の紹介と本時の授業についての見通し・めあて（10分） 2 職員の話（10分） 3 質問タイム（20分） 4 ふりかえり（5分）
ポイント	質疑応答の時間を多く設定することで、主体的に学習に取り組む態度を養うことが期待できます。

該当学年	小学校４年生～中学校１年生
プログラム名	触ってみよう！縄文時代と弥生時代の道具
教科・単元	<u>小学校６年生</u> 社会科 日本の歴史 １ 国づくりの歩み（教育出版）
問い	縄文時代と弥生時代の違いっていったい何だろう。
単元計画の例	大昔の暮らしをさぐろう → <u>本時</u> → 学習問題をつくり、学習の見通しを立てよう
主眼	本物の土器や米作りの道具、青銅器（一部レプリカを含む）に触る体験や解説を通して、縄文時代の暮らしの様子を捉え、縄文時代の遺物と弥生時代の遺物を比較して、暮らしの変化を考え、表現することができるようにさせる。
内容（例）	１ 九州歴史資料館の紹介と本時の授業についての見通し・めあて（５分） ２ 学芸員の話とハンズオン体験（２５分） ３ 質問タイム（５分） ４ ふりかえり（１０分）
ポイント	教科書の図に加えて実物資料を見たり触ったりする体験を通して、より鮮明に当時の生活の様子をイメージすることができます。

該当学年	小学校６年生・中学校１年生
プログラム名	天皇を中心とした国づくり「福岡編」
教科・単元	<u>中学校１年生</u> 社会科 歴史分野 第１章 ３節 中国にならった国家づくり（帝国書院）
問い	日本が改革を進めていくなかで、私たちが生活するこの地ではどのようなことが行われていたのだろうか。
単元計画の例	２ 律令国家を目指して → <u>本時</u> → ３ 律令国家での暮らし
主眼	太宰府を中心とした律令国家体制での国づくりを理解することを通して、古代の歴史をより身近に感じ、主体的に学習に取り組むことができるようにさせる。
内容（例）	１ 九州歴史資料館の紹介と本時の授業についての見通し・めあて（５分） ２ 職員の話（３０分） ３ 質問タイム（５分） ４ ふりかえり（１０分）
ポイント	当時の大宰府の様子を理解することで、より身近に律令国家の形成をイメージできることが期待できます。

該当学年	小学校6年生～中学校3年生
プログラム名	仏像の見かた
教科・単元	総合的な学習の時間「修学旅行へ向けて」
問い	どのようなところに注意して仏像を見たらいいのだろう。
単元計画の例	本時 → 班別自主研修の計画等
主眼	仏像の種類とその違いやとらえ方を知ることを通して、関心や意欲を高め、主体的に仏像や文化財と向き合うことができるようにさせる。
内容（例）	1 九州歴史資料館の紹介と本時の授業についての見通し・めあて（5分） 2 職員の話（35分） 3 質問タイム（5分） 4 ふりかえり（5分）
ポイント	毎年ご依頼をいただく学習プログラムです。見る視点を得ることで実物を見学するという活動の価値を高めることができます。特に京都・奈良方面への修学旅行を計画される場合は活用をご検討ください。

該当学年	高校1年生
プログラム名	VRがつくる考古学の未来 ※VR出前授業と連動したプログラムです。
単元	歴史総合 第4章4節「現代的な諸課題の形成と展望」（東京書籍）
問い	VR技術という最新技術は考古学にどのような影響を与えるのだろうか
単元計画の例	VR出前授業→ 本時 → 歴史探求の方法
主眼	VRの古墳探索体験や発掘体験、学芸員の講話を通して、VRという最先端技術は考古学という学問にどのような可能性をもたらすのか自分の言葉で記述できるようにさせる。
内容（例）	前日にVR体験（50分） 1 前時のVR体験の続き（15分） 2 VR出前授業の振り返り（5分） 3 学芸員の話「最先端技術を活用した考古学の未来」（15分） 4 質問タイム（5分） 5 本時のふりかえり（10分）
ポイント	実際にVRを体験した後に、VRコンテンツを制作に携わった職員が講話を行い、これからの考古学についての展望をお話します。文化財に対する関心・意欲の高まりに加え、キャリア教育としての価値付けやVRで古墳を保存するという文化財保護の意義について理解を深めることも期待できます。



九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM



学校教育 × 博物館 × ICT

School education × Museum × Information and Communication Technology

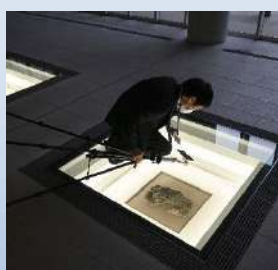
GIGA(全ての児童・生徒のための世界につながる革新的な扉)スクールだからこそ

博物館と「遠隔授業」しませんか？

博物館は実際に来て見て触れていただくことが一番ですが、校外学習の実施は時間や予算の面から難しいという学校現場での実情を踏まえ、「オンライン遠隔授業」を実施しています。

「オンライン社会科見学」が標準の学習プログラムですが、先生方のご要望に沿って授業をご提供できます。授業内の15分程度のスポットでの活用（ピンポイント解説や質疑応答等）も可能です。せっかくのICT機器を活用して、児童・生徒の皆さんを教室にしながら博物館に連れて行きませんか。費用は無料です。

申し込み＆お問い合わせ
フォームです。



「たからもの」を見る。その経験が「たからもの」になる。



九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒838-0106

福岡県小郡市三沢 5208-3

TEL: 0942-75-9575

FAX: 0942-75-7834



アクセス
(西鉄電車) 天神大牟田線
三國が丘駅より約700m

(JR) 鹿児島本線東田駅より
タクシーで約10分



遠隔授業「オンライン社会科見学」(実施例)

〇〇立〇〇中学校 1 年生 (社会科 歴史分野)

1 日 時 月 日 () 校時 時 分～ 時 分

2 内 容 オンライン社会科見学 ～博物館バーチャル歴史体感ツアー～

3 主 眼 オンラインでの展示解説を聞き、お気に入りの文化財を見つける活動を通して、感じたことを言語化することができるようにさせる。

4 接 続 ZOOM もしくは Google ミート

5 準 備 WEB 端末 (1 人 1 台ご準備ください。本館のホームページと Google フォームにアクセスします。)

6 接続テスト 月 日 ()

7 展 開

学習活動と内容	手立て	形態	配時
1 九州歴史資料館について知る。 ・九州歴史資料館の概要と特徴 ・本日の学習内容	○館外から中継を開始し、館内に入る様子をライブ中継することで、来館する臨場感を持たせるとともに、学習意欲を高めさせる。 ○スライドを使って九州歴史資料館の概要と本時の学習の流れを説明し、見通しを持たせる。	一斉	10
学習課題 九州歴史資料館の「推し」の文化財を見つけて、心の動きに気づくことができるようになる。			
2 オンラインで展示室の文化財を見学し、展示解説を聞く。 ・土器、鬼瓦、仏像、文書など	○ジンバルカメラを使用することでスムーズな映像を流し鑑賞への参加意識を高める。 ○チャット機能やアンケートフォームを活用し、個別の問いと学びに即時性を持たせることで、学習の個性化を図る。	一斉	15
3 オンラインで館内見学や展示見学を行う。 ・360度 WEB 観覧	○端末から九州歴史資料館のホームページにアクセスさせ、「360度 WEB 観覧」のコンテンツで自由に疑似見学を行うことで、お気に入り (推し) の文化財を見つけさせる。 https://kyureki.jp/360_museum/	個別	10
4 授業者に質問をする。	○双方向でのやり取りを行うことで、オンライン授業の価値を高め、さらに探求しようとする態度を養う。	一斉	5
5 本時の振り返りを行う。	○Google フォームにアクセスして、九州歴史資料館でのお気に入り (推し) と授業の自己評価、感想の記入を行い、本時の授業の振り返りをさせる。	個別	10

8 評価基準

学びに向かう力 人間性等	・お気に入り (推し) の文化財を見つけ書き出すことができています。 ・感じたことや考えたことをもとに、文章でまとめることができおり、博物館や文化財に対する興味・関心を示す表現が見られる。
-----------------	---

交通費0円 入館料0円 移動時間0分



九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

県立の博物館 バーチャル見学 できます



九州歴史資料館 360° バーチャル体験は
ホームページからいつでも簡単に
アクセスできます。

上記の2次元コードもしくは
ホームページにある
バナーからアクセスできます



ご要望があれば
オンラインでの
ライブ解説や
質疑応答も可能です。
オンライン社会科
見学というプログラム
もご準備しています



お問い合わせやお申込みは簡単にアクセスができるWEBフォームを
ご利用ください。お手持ちのスマートフォンからも
アクセスできますので、まずはお気軽にご相談ください。
(ホームページからもアクセスできます。)



九州歴史資料館

KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

TEL : 0942-75-9575

FAX : 0942-75-7834



ホームページは
こちらから



公式 Twitter は
こちらから

〒838-0106 福岡県小郡市三沢 5208-3

アクセス

(西鉄電車) 天神大牟田線
三國が丘駅より約 700m

(J R) 鹿児島本線原田駅より
タクシーで約 10 分



九州歴史資料館 オンライン遠隔授業 学習プログラムの例

博物館は実際に来て見て触れていただくことが一番ですが、学校現場での校外学習の実施は時間や予算の面から難しいという実情を踏まえ、当館ではオンライン授業を実施しています。その他の学習先生方のご要望に沿って授業をご提供できます。授業内の15分程度のスポットでの活用も可能です。

該当学年	全学年
プログラム名	オンライン社会科見学 ―博物館バーチャル歴史体感ツアー―
単元	歴史分野の学習の導入、総合的な学習・探求の時間、キャリア教育、来館事前学習等
問いの例	なぜ歴史を学び、文化財を守り、伝えていく必要があるのだろうか
単元計画の例	本時 → 歴史の学び方をナビゲーション（小学校） 歴史のとらえ方と調べ方（中学校）、歴史の扉（高等学校）
主眼	オンラインでの展示解説を聞き、お気に入りの文化財を見つける活動を通して、感じたことを言語化することができるようにさせる。
内容	1 九州歴史資料館の紹介と本時の授業についての見通し・めあて（10分） 2 第1展示室の文化財の紹介（15分） 3 館内360度WEB観覧（10分）※1人1台端末でコンテンツにアクセスする 4 質問タイム（5分） 5 振り返り（10分）
ポイント	オンライン遠隔授業の標準プログラムです。おかげさまで好評をいただいております。各自で端末を操作してのバーチャル観覧や双方向の質疑応答等で学習の個性化を図ることができます。こちらは略案を準備していますので参考にしてください。また「学びに向かう力・人間性等」の評価基準の例も作成しております。

該当学年	全学年
プログラム名	その疑問、専門家に聞いてみた ―博物館とつながる遠隔授業―
単元	歴史分野の調べ学習 総合的な学習・探求の時間
単元計画の例	主題の設定 → 資料・情報の収集 → 本時 → 考察と収集
主眼	調べ学習の中で疑問に思ったことや分からないことを専門家に質問をすることを通して、学習の個性化を図り、主体的に学習に取り組む態度を養わせる。
内容	1 九州歴史資料館の紹介と本時の授業についての見通し・めあて（5分） 2 レポート作成と平行しての質問タイム（40分） 3 振り返り（5分） ※詳細はご要望に応じます。
ポイント	常時オンラインで接続した状態でつながることで、まるで教室に専門家がいるかのような状態で気軽に質問をすることができます。学習の最適化や深化を期待することができます。

該当学年	小学校 4 年生～中学校 2 年生
プログラム名	すごいぞ！福岡や地域の古墳
教科・単元	<u>小学校 6 年生</u> 社会科 1 国づくりのあゆみ（教育出版） <u>中学校 1 年生</u> 社会科 第 1 章 第 2 節 古墳から分かる当時の様子 （帝国書院）
問いの例	私たちが住んでいる近くにはいったいどんな古墳があるのだろう
単元計画の例	<u>小学校 6 年生</u> 巨大古墳と大王 → 古墳をつくった人々 → <u>本時</u> → 調べ学習（地域の古墳等） <u>中学校 1 年生</u> 3 鉄から見える大和王権 → 本時 → 章のまとめやレポート作成（県内の古墳等）
主眼	福岡県の古墳の発掘や調査、保護に携わる人々の話を聞いたり、写真や動画等の資料を見たりすることを通して、古墳がつくられた理由や出土品から分かること、大陸からの影響等について追求する意欲を高めることができるようにさせる。
内容（例）	1 九州歴史資料館の紹介と本時の授業についての見通し・めあて（10分） 2 職員の話（20分）※県内や地域の古墳について紹介や解説 3 質問タイム（10分） 4 ふりかえり（5分）
ポイント	福岡の古墳について知ることを通して、より身近に古墳を感じることができます。 ご希望があれば他の博物館や現地からの中継もご相談に応じます。

該当学年	小学校 5 年生～中学校 2 年生
プログラム名	福岡の古代の「城」の謎
教科・単元	<u>中学校 1 年生</u> 社会科 歴史分野 第 1 章 第 3 節 中国にならった国家づくり（帝国書院）
問いの例	なぜ都から離れた大宰府に大規模な水城や大野城がつくられたのだろう なぜ大宰府を守る必要があったのだろう
単元計画の例	<u>本時</u> → 2 律令国家を目指して → 3 律令国家での暮らし
主眼	県内にある水城や大野城が築かれた理由を理解することを通して、当時の国際情勢やそれにとまなう国内の政治改革について主体的に学習に取り組む態度を養わせる。
内容（例）	1 九州歴史資料館の紹介と本時の授業についての見通し・めあて（10分） 2 職員の話（30分） 3 質問タイム（5分） 4 ふりかえり（5分）
ポイント	福岡県内にある特別史跡である水城と大野城が築かれた経緯を知ること、当時の唐の成立による東アジア諸国の緊張の高まりやそれに伴う大化の改新などを学習する意欲が高まることが期待できます。また大宰府跡から発掘された重要文化財である木簡の解説を通して当時の大宰府の役割とその価値についてもお話をします。

該当学年	中学校 1 年生～高校 1 年生
プログラム名	絵画資料から近代の都市のようすをよみとろう 【福岡編】
教科・単元	高校 1 年生 歴史総合 第 2 章 近代化と私たち （東京書籍 新選歴史総合）
問いの例	100 年前の福岡の様子からどんなことが分かるだろう
単元計画の例	絵画資料から近代の都市のようすをよみとろう → 本時 → レポート作成等
主眼	博物館職員の解説や福岡の絵画資料を各自で読み取る活動を通して、近代化の歴史に関わる諸事象について、当時の福岡の様子と関連づけて課題を追究しようとしている。
内容（例）	1 九州歴史資料館の紹介と本時の授業についての見通し・めあて（5分） 2 職員の話（10分） 3 各自で資料を調べ分かったことをまとめる（20分） 4 質問タイム（5分） 5 ふりかえり（10分）
ポイント	1 人1台端末を活用して福岡市の鳥瞰図や太宰府天満宮の絵図をよみとる活動を通して学習の個性化を図ります。また昭和初期に描かれた吉田初三郎の福岡市の鳥瞰図からは、路面電車以外にも、都市を結ぶ鉄道や石炭を運ぶ鉄道など、様々な鉄道が走っており、当時の県内の産業についても読み取ることができます。

該当学年	中学校 1 年生～高校 3 年生
プログラム名	文化財を「科学」で保存する仕事
教科・単元	高校 1 年生 歴史総合 第 4 章 4 節「現代的な諸課題の形成と展望」（東京書籍）
問いの例	現在は文化財を保護するためにどのような取り組みがされているのだろう
単元計画の例	主題の設定 → 資料・情報の収集 → 本時 → 考察と収集
主眼	文化財保護に携わる職員の解説や機器の実演の見学を通して、「歴史総合」で学んだ内容と関連づけて、文化財を保護する意義を自分の言葉で記述できるようにさせる。
内容（例）	1 九州歴史資料館の紹介と本時の授業についての見通し・めあて（10分） 2 職員の話（10分） 3 文化財を調査する X 線 CT スキャンの実演（10分） 4 質問タイム（10分） 5 ふりかえり（10分）
ポイント	九州に 2 台しかない文化財専用の X 線 CT スキャンを教室の中から学芸員の解説とともに見学することができます。またキャリア教育としての価値や文化財保護の意義について理解を深めることも期待できます。

今日の授業、 「古墳の中」に入ります

学校教育 × 博物館 × ICT

School education × Museum × Information and Communication Technology

九州歴史資料館「VR出前授業」

九州歴史資料館が制作したVR（バーチャルリアリティ）コンテンツを活用した出前授業です。通常は入ることができない古墳や仏像の内部に入り、そのつくりを観察することができます。このような文化財を体感する活動を通して、児童・生徒さんの主体的に学習に取り組む態度を養うことが期待できます。**費用は無料です**。クラス単位だけでなくコース別授業、特別支援学級や適応指導教室、部活動などの少人数グループでのお申込みもできますので、まずはお気軽にご相談ください。

●VRの対象年齢は13歳以上となっており、対象年齢未満の利用の際は保護者の承諾が必要です。

●1人1台ゴーグルを着用して体験するため、多少時間がかかります。目安は授業1コマで約30名の体験が可能です。また少し広い特別教室等の体験スペースが必要になります。

VRコンテンツ一覧

- ① 船原古墳1号土坑（古賀市） ② 船原古墳石室（古賀市）
- ③ 皆見大塚古墳（みやこ町） ④ 奪衣婆坐像（鎌倉時代）

お問い合わせ
フォームです。



「たからもの」を見る。その経験が「たからもの」になる。



〒838-0106

福岡県小郡市三沢 5208-3

TEL : 0942-75-9575

FAX : 0942-75-7834



アクセス
〈西鉄電車〉 天神大牟田線
三國が丘駅より約700m
〈JR〉 鹿児島本線三河田駅より
タクシーで約10分



VR出前授業（略案）

- 1 日 時 ○月○○日（○） ○校時 ○○：○○～○○：○○
- 2 場 所 ○○○○学校 ○○教室
- 3 人 数 ○年生 ○○名
- 4 内 容 VR古墳見学、仏像内部見学
- 5 主 眼 VRでの古墳探索体験を通して、古墳や発掘された遺物の魅力や価値を知り、文化財を保護する意義を感じることができるようさせる。
- 6 準 備（学校側）※お手数をおかけしますがよろしくお願いいたします。
 - ・VR 仏像内部見学体験用の椅子5脚
 - ・VR 古墳探索体験用スペース（5m×7m を安全に歩ける平らなスペース）
 - ・延長コード2つ（VR 充電用 こちらも持参しますが、ご準備いただけると助かります）
 - ・1人1台端末（待ち時間で九州歴史資料館の360度WEB観覧のコンテンツを体験する）
※Wi-Fi接続をお願いします。

7 展 開

学習活動と内容	手立て	形態	配時																
1 九州歴史資料館と本時の学習内容について知る。 ・福岡県立の博物館 ・文化財の発掘と保存	○ 九州歴史資料館の文化財を守り伝える取り組みについて理解させ、授業の価値認識を高めさせる。 ○ 文化財の復元や保存を行っていることに触れ、その理由について問いを持たせる。	一斉	10																
めあて VRでの古墳見学を通して、文化財を守る理由を見つけよう。																			
2 VRコンテンツ等を体験する ・船原古墳石室 ・奪衣婆坐像 ・360°WEB観覧	○ 3グループに分かれさせて、ローテーションで効率よく体験を行わせる。またそれぞれにペアを組ませることで安全面に配慮をする。 ○ 端末から九州歴史資料館のホームページにアクセスさせ、「360度WEB観覧」のコンテンツで自由に館内の疑似見学を行うことで、文化財の魅力や面白さに気付かせる。 https://kyureki.jp/360_museum/	小集団	30																
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>Aグループ</th><th>Bグループ</th><th>Cグループ</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10分</td><td>奪衣婆座像</td><td>九歴360°WEB観覧</td><td>船原古墳石室</td></tr> <tr> <td>10分</td><td>船原古墳石室</td><td>奪衣婆座像</td><td>九歴360°WEB観覧</td></tr> <tr> <td>10分</td><td>九歴360°WEB観覧</td><td>船原古墳石室</td><td>奪衣婆座像</td></tr> </tbody> </table>					Aグループ	Bグループ	Cグループ	10分	奪衣婆座像	九歴360°WEB観覧	船原古墳石室	10分	船原古墳石室	奪衣婆座像	九歴360°WEB観覧	10分	九歴360°WEB観覧	船原古墳石室	奪衣婆座像
	Aグループ	Bグループ	Cグループ																
10分	奪衣婆座像	九歴360°WEB観覧	船原古墳石室																
10分	船原古墳石室	奪衣婆座像	九歴360°WEB観覧																
10分	九歴360°WEB観覧	船原古墳石室	奪衣婆座像																
3 本時の振り返りを行う	○ VRでのリアルな体験を振り返ることを通して、めあての達成についての自己評価を行わせる。	一斉	10																

1人1台端末での個別の探求活動・調べ学習に

最適教材として活用できます

学校教育 × 博物館 × ICT
School education × Museum × Information and Communication Technology

日本遺産
古代日本の「西の都」
[Japan Heritage] The Western Capital of Ancient Japan ~Exchange Hub with East Asia~

東アジアとの交流拠点



お薦めのポイント

- ①福岡県教育庁文化財保護課制作の確かなコンテンツ
- ②大宰府跡を中心とした30の文化財
- ③国際交流を語る文化財と豊富な写真資料
- ④CGを使ったリアルなストーリー動画・VR動画
- ⑤WEBで閲覧が可能なので1人1台端末に最適
- ⑥総合的な学習の時間でも活用がしやすい



小学校4年の地域の文化財を調べる学習の教材としてはもちろん、小学校6年や中学校の歴史の補助教材や地域調べの資料として、また、高等学校の歴史総合での探求活動、先生方の教材研究の資料としてもご活用ください。

お問い合わせ



九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

教育普及担当 中野
TEL 0942-75-9501

先生方専用
お問い合わせ
フォーム



【出前授業・オンライン遠隔授業の活用にあたって】

- ・担当職員の業務の都合等で実施できない場合もありますので、予めご了承ください。
 - ・依頼の内容によっては、各市町村の文化財担当職員をご紹介する場合があります。
 - ・学習プログラムに無いテーマについても可能な限り学校側のご要望にお応えします。
 - ・先生と打ち合わせのうえ、評価基準を設定することも可能です。
 - ・オンライン授業に関しては事前に接続テストを実施致します。
- また学校側に ZOOM や Google ミートの会議の作成をお願いしております。
- ・九州歴史資料館ホームページでもご紹介しています。(<https://kyureki.jp>)



ホームページ

【活用の方法について】

1 申込方法

- ①希望日の1ヶ月前までに、広報普及班までお電話か申し込みフォームにてご連絡ください。
- ②日程やテーマが決まりましたら、「オンライン授業・出前授業」申込書をご提出ください。
※職印は必要ありません。郵送かFAX、メールでお送りください。
- ③実施に向けて、詳細を打ち合わせます。
- ④実施後のアンケートへのご協力もお願いいたします。

2 経 費

無料です。講師派遣の費用（謝礼、交通費等）は必要ありません。

3 問い合わせ先

九州歴史資料館 文化財企画推進室 広報普及班 〔担当〕中野、田中
TEL 0942 - 75 - 9501（直通）／FAX 0942 - 75 - 7834
「お問い合わせフォーム」からもご相談できます。
※当館ホームページからもフォームにアクセスできます。



お申込み
お問い合わせ
フォーム



え？ 文化財×ICT？

福岡県立の博物館主催の研修で、ICT機器を活用し
悠久の歴史の世界へ引き込む **文化財の「教材力」** を
生かす方法を学びませんか。



九州歴史資料館 教員向けオンライン研修会 文化財とICTを活用した授業づくり

令和5年5月12日(金) 14:15～16:50

ZOOM開催
参加無料

主 催：九州歴史資料館（福岡県立の歴史博物館）
会 場：ZOOMによるオンラインでの開催
対 象：学校関係者、及び教員・学芸員を目指す大学生
参加料：無料
申込み：電子申請による事前申し込み

お申込みはこちらから

- 博物館在籍の教員（指導主事）が分かりやすくご案内します。
- 当館が実施している「オンライン社会科見学」を体験できます。
- 文化財を活用した授業プランや手立て、アイデアをご紹介します。
- 授業ですぐ使えるパワーポイントの活用方法をご紹介します。
- パワーポイントや当館所蔵の文化財のデータをお渡しします。



「たからもの」を見る。その経験が「たからもの」になる。



**Zoom 開催
参加無料**

教員向け研修会のご案内

「文化財と ICT を活用した授業づくり」

前半は当館の常設展示・企画展示を中心に、当館が実施しているオンライン社会科見学をご体験いただき、後半は文化財を活用した授業例や手立てを教育普及の職員がご紹介いたします。今回の研修を通して、福岡の文化財の魅力や価値についての知見を深めていただき、博学連携の意義や文化財を活用した児童・生徒の学習意欲が高まる授業づくり、手立てのイメージやヒントを得ていただきます。

【日程】令和5年5月12日(金)

14:00～14:15	受付 (Zoom)
14:15～14:25	開会行事 (オリエンテーション)
14:25～15:35	体験 遠隔授業「九州歴史資料館オンライン社会科見学」
15:35～15:45	休憩
15:45～16:05	講話①「文化財を活用した授業プランの紹介」
16:05～16:25	講話②「授業で活用できる PowerPoint の手法」
16:25～16:40	九州歴史資料館の教育普及事業の説明 (博学連携の在り方)
16:40～16:50	閉会行事 (アンケート記入)

● ZOOM によるオンライン開催

だから職場や学校にしながら展示の見学や解説を聞くことができます。



● 明日から使える ICT の小ネタ

ひとり一台端末時代。PowerPoint で空を飛ばそう！
教室を博物館にしちゃおう！



● 授業に役立つ文化財データ公開

知ってるだけじゃもったいない。博物館や文化財画像を授業で活用する手立てを、当館指導主事が丁寧に教えます。



【申込方法】

- ・オモテ面記載の QR コード、もしくは当館 HP 掲載の「申込フォーム」に必要事項を記入の上、お申し込みください。
- ・当日は Zoom によるオンライン開催を予定しております。ご登録いただいたメールアドレスあてに、事前にミーティング ID をお知らせいたします。
- ・カメラの ON・OFF は任意です。マイクはミュートでご参加ください。

担 当 ： 九州歴史資料館 文化財企画推進室 広報普及班 教育普及担当 中野 宏人 田中 奨俊